

東松山の「音の文化」

第19期 国際・文化学部 C班



○小川宏 ◎片山あき子 △新谷ひろ子 長島八重子 村田重子 村田峯子
◎ リーダー ○ サブリーダー △ 会計

【選定理由】

国際・文化学部C班は、東松山市の標語「安心できる暮らしと豊かな自然を大切に
した街」を通して、地域に根差し大切に育まれてきた「音の文化」を訪ねてみまし
た。春は、うぐいす、ひばりなど野鳥がさえずり、小学新入生のにぎやかで明るい登
校の音が聞こえてきます。夏は、夏まつり天王さま、神輿が練り歩き、山車が引き廻
され、市内が人々で大変な賑わいとなります。都幾川では盛大に花火大会が開催され
ます。秋は、箭弓稲荷神社で厳かに幽玄な雅楽が演奏され、村々の鎮守の森では、獅
子舞、餅つき踊りが奉納されます。よさこい陣屋まつり、サンバカーニバルも催され
ます。冬は、お酉様、馬頭観音絵馬市、節分祭が開かれます。市内各学校では、コー
ラス、吹奏楽が一年を通して音を奏でます。音を楽しむと書いて音楽となります。松
山女子高校音楽部は、全国大会で金賞を受賞、比企交響楽団の年末ベートーベン第九
演奏も有名です。きらめき市民大学コーラスクラブも、年間を通して、利根川佳子先
生の指導の下で音を楽しんでおります。

目 次

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. ひがしまつやま花火大会 | 6. 獅子舞 |
| 2. 夏まつり天王さま | 7. 金谷の餅つき踊り |
| 3. よさこい陣屋まつり | 8. きらめき市民大学コーラスクラブ |
| 4. 東松山サンバカーニバル | 9. 松山女子高校音楽部 |
| 5. 箭弓稲荷神社雅楽 | |

1. ひがしまつやま花火大会

第1回の花火大会は、平成12年7月29日（土）に商工会青年部高坂支部が、新世紀を迎え地元を盛り上げる町おこしの為に開催しました。平成13年2回目からは、東松山花火大会として、観光協会が主催して20回まで開催されました。そして、新型コロナ流行により21回、22回の2年間は、中止となりました。例年8月下旬に企業や団体の宣伝、個人や家族の記念などの申し込みにより、尺玉、スターメイン、メッセージ花火、音楽付き花火の総計約5,000発の花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩ります。都幾川のリバーサイドパークのメイン会場では、腹の底まで響く音と頭上から降り注ぐ光を間近に楽しむことができます。



平成29年 第18回花火大会

2. 夏まつり天王さま

東松山の夏まつりは、旧松山宿の総鎮守として創設された氷川神社（のちに松山神社と改名）の末社である八雲神社で夏の悪霊除けを願って、天王さまを例祭として執り行われたのが始まりです。現在は、東松山市の夏まつりとして定着しています。各町内（本町、材木町、箭弓町、松葉町他）では、神輿が渡卸し、山車が繰り出されます。例年7月の第4土曜日、日曜日に行われ2日目のクライマックスには、材木町の四つ角に山車や神輿が集中し、競演が行われます。祭囃子を演奏しながら屋台を繰り出して引き廻し、神輿が練り歩きます。沿道には、露店が立ち並び、大勢の人で賑わうまつりです。平成10年から「東松山夏まつり」となり、平成12年に「東松山夏まつり実行委員会」主催、東松山市観光協会と組織化されました。この所2年間、新型コロナ流行のために中止になりました。

3. よさこい陣屋まつり

よさこい陣屋まつりは、市制50周年記念と東松山市を中心に毎年開催される日本スリーデーマーチに参加している世界各国や、全国各地から訪れている、ウォーカーの皆様にも見て楽しんでほしいと、東松山市のまちづくりのひとつとして、平成16

年から開催されています。新型コロナ流行で2年間中止しました。今年は、皆さんの笑顔や地域コミュニティのため、よさこい陣屋まつりの灯を消すことは出来ないという商店会や参加者の熱い思いから、令和4年に3年ぶりに開催されました。

県内各地を中心に16チームが集結した「よさこいチーム」が、歩きながらの流し踊り、その場での立ち踊りなどで、旗を振り、鳴子を持って演舞を披露し、まるひろ商店街が「よさこい一色」に染まりました。主催者は、まるひろ通り商店会、よさこい陣屋まつり実行委員会です。



令和4年 第25回よさこい陣屋まつり

4. 東松山サンバカーニバル

東松山サンバカーニバルは、地域活性化の為に、平成2年から始まり、例年9月に東松山市のぼたん通り商店街で行われるイベントです。浅草を本拠地とする「仲見世バルバロス」の方々を招いて、盛大に行なわれ華麗なダンスが沿道の人々の目を楽しませます。ぼたん通りバザール事業として、個人や団体による出店もあり、スタンプラリーなど楽しみ一杯のおまつりです。この所2年間は、新型コロナ流行の為に中止にしています。主催者はぼたん通り商店会です。



中止となった令和2年ポスター

5. 箭弓稲荷神社雅楽

比企雅楽会代表の箭弓稲荷神社権禰宜松岡大熙氏を訪ね、社務所和室にて資料に沿って雅楽についてお話を伺いました。社務所は雅楽の練習場にも使われており、楽器、衣装、舞面等が保管されています。松岡氏のご好意により楽器に触れることもできました。雅楽説明資料及び平成22年10月開催の比企雅楽会設立25周年團十郎稲荷祭DVDを提供いただきました。

(1) 雅楽

雅楽は古くから日本に伝わる神楽歌に、奈良時代に輸入された唐学、高麗楽が融合した音楽、平安時代の催馬楽（さいばら）、朗詠（ろうえい）も含まれます。大宝元年

(701)、大宝令により雅楽寮（うたまいのつかさ）が設置され、継承体制が整いました。平安時代に楽器楽曲が整理統合され、寺や神社の楽所（がくそ）に任せていた雅楽が、貴族、上流社会に流行し現在伝わる楽曲、作曲、作舞されました。平安時代後期には、雅楽は平民や源氏が信仰する神社でも行われていました。主として京都楽所（京都御所）・南都楽所（春日大社、興福寺）・天王寺楽所（四天王寺）3ヶ所を三方楽所と呼び、世襲により継承されました。明治になると、三方楽所の楽人一部と江戸幕府の楽人が宮中に仕えることとなります。現在の宮内庁楽部の基となりました。その後、雅楽は一般者でも行ってよいとされ、雅楽人口は増えました。

(2) 雅楽で使う楽器

- ・弦楽器 琴・琵琶・箏（そう）
- ・管楽器 笙（しょう）・横笛（龍笛・高麗笛・神楽笛）・篳篥（ひちりき）
- ・打楽器 太鼓・鞆鼓（かっこ）又は三の鼓（つづみ）・鉦鼓（しょうこ）



(三管) 太鼓 鞆鼓 鉦鼓



笙 横笛 篳篥

鞆鼓は神葬祭の時は青、お祝い時は赤にセットします。笙は17本の竹を組み合わせて響銅（さわり）という合金製のリードを付けた和音奏でる楽器です。篳篥は主旋律を吹く縦笛で神楽歌に用います。横笛は神楽笛、龍笛、高麗笛曲により使い分けます。古来高貴な人が愛用した楽器です。横笛は名器が多く残っています。演奏のみ管絃では三管に琵琶、箏、太鼓、鞆鼓、鉦鼓がはいります。舞を伴う舞楽では、様々な楽器を組み合わせます。雅楽では指揮者はおりませんので、鞆鼓又は三鼓を打つ者が担当します。

(3) 管絃と舞楽

管絃（管絃合奏）は、唐楽の演奏のことをいいます。管絃を行う際には音合わせである音取りを奏し、当曲（演奏しようとする曲）を奏します。



演奏装束



舞面

舞楽は舞を伴い、唐楽の舞楽を左方の舞（左舞）、高麗楽を右方の舞（右舞）とい
います。左方の舞の衣装は朱色系統生地に金色の金具で、メロディに合わせて舞いま
す。右方の舞の衣装は青色系統生地に銀色の金具で、リズムに合わせて舞います。両
方の舞には一人舞、二人舞、四人舞があります。

御神慮を慰め、奉る際は三管が多く用いられ絃楽器は用いません。舞を奉奏する場
合は神楽舞を奉奏します。

(4) 比企雅楽会

昭和 60 年に発足、下記のお祭りの他に比企郡市内の祭典慶弔の式に奏楽を行いま
す。発足以前は大宮氷川神社氷川雅楽会に依頼しました。

① 箭弓稲荷神社のお祭り

2 月 17 日	祈年祭
4 月中旬～5 月 7 日	ぼたん祭（この中の 1 日）
4 月下旬	崇敬者大祭
5 月下旬	團十郎稲荷祭
8 月 16 日	戦没者慰霊祭
9 月 21 日	例大祭
10 月十三夜付近	團十郎稲荷祭
11 月 23 日	新嘗祭
随時	結婚式、神葬祭

※この中で、一般の方はぼたん祭りと團十郎稲荷祭のみ観賞できます。

② 会員

比企雅楽会は神社庁比企支部管内の神職、雅楽に関心あり会則の趣旨に賛同す
る人から成り立っています。神職は祭典を行わなければならないため、雅楽は主
に雅楽に関心あり会則の趣旨に賛同する人が演奏をしています。演奏者現在約
20 名祭典の演奏者各管 1 名ずつ、イベントでは全員が演奏します。今までは年
60 回程の活動でしたが、新型コロナ感染防止の為現在は中止しています。

6. 獅子舞

獅子舞は、日本で最も数の多い伝統芸能とされており、獅子舞の獅子はライオン
（和名は獅子）を元にした伝説上の生き物です。起源は諸説ありますが、元をたどれ
ばインドの獅子（強い霊力をもった霊獣）に行きつき、仏教とともにシルクロードを
経て中国、朝鮮半島、そして日本に伝わり、長い歴史を経て固有の芸能文化として定
着したと言われていています。

東松山市では 3 匹獅子舞が盛んで、3 匹のうち 1 匹は雌獅子と呼ばれ、2 匹の雄獅
子が奪い合う雌獅子隠しという演目を持つところが多く、篠笛とささら（竹製楽器）
の伴奏で、獅子の腹にくくりつけた太鼓を打ちながら舞います。五穀豊穰、悪病退
治、厄除け、雨乞い、祝い事などの目的で行われ地域ごとに特色があります。最近
は、新型コロナ流行による奉納中止や少子高齢化による後継者難などにより伝承して

いくことが難しくなっています。東松山市無形民俗文化財指定の野田・神戸・上野本3地区の獅子舞保存会代表宅を訪問しました。壮大な歴史のロマンを思い描きながら、村々の鎮守の森で響きわたる祭囃子、舞い踊る獅子舞をご覧になってみてはいかがでしょうか。

(1) 野田ささら獅子舞

獅子元(※)である長谷部宅で、獅子舞、獅子道具のお話を聞きました。その際に、野田ささら獅子・舞笛の音曲DVDを提供いただきました。

始まりは、寛永12年(1635)と言われ市内で最も古く、旧野田村の名主長谷部平兵衛福兼によって始められたと伝えられています。獅子元は、長谷部家に代々引き継がれ、故長谷部喜夫氏が、「ささら獅子舞・笛の音曲」楽譜を昭和53年に作成しました。獅子舞は、8畳ほどの敷物の上で、切り袴、白足袋姿で舞うことから「座敷獅子」と呼ばれます。獅子道具の中に「獅子頭」と「太右エ門さんの笛」があり、桐で作った獅子頭は、縄文風の線刻で気品も感じられ、大きい目は、力強さを表しています。隠居獅子は、東松山市指定有形民俗文化財に指定されています。こうした皆さんの努力で野田の獅子舞は絶えることなく引き継がれてきました。

※獅子元(ししもと)…獅子道具を保管し獅子舞を練習し、当日の支度をする家。



獅子頭 隠居獅子



ほら貝



先導するまったい棒

(2) 神戸獅子舞

始まりは、寛政3年(1791)と言われています。神戸神社の周辺を華やかな行列を組み、地区の方に祭り開始をふれ歩く「街道廻り(村廻り)」を行います。獅子舞は、神戸神社内にある、わらで編んだ16個の俵で円を作った「土俵」内で奉納します。土俵は18俵で形にして、残りの2つは神社と鳥居を結んだ通り道に設置し、五穀豊穰を祈りました。5mほどの縄を3本あみ、それでしめ縄を作り重さが50kgを超え、7、8人がかりで鳥居に飾ります。伺った際に、「下野本舞のおさらい(平成6年)」のDVDを提供いただきました。

(3) 上野本獅子舞

旧野本村の総鎮守八幡神社秋祭り奉納舞として江戸時代宝暦2年(太鼓の銘に1752年とある)頃より始められていたと推定されています。第二次世界大戦中昭和17年に中断され姿を消し、昭和49年に保存会結成(役人80名)により本格復活しました。奉納行事 宮司宅で祈願祭・獅子舞奉納、万燈が先行し提灯に先頭され、20名程の笛や太鼓・ササラを演奏しながら中宿休憩を経て街道くんだり、八幡神社にて祈

願祭・獅子舞を奉納します。舞に先立ち、2人の青年の鹿島流棒術による棒使いが行われます。獅子舞は一人立ちの三匹で、「ドヒヤリ」「三匹ぞろい」の二曲形式で「街道くだり」「メジシかくし」「歌の舞」となっています。令和4年10月16日、3年ぶりに保存会の皆様で獅子舞が奉納されました。その際、上野本獅子舞笛DVD、貴重な楽譜を提供いただきました。



はやしっ子と三匹獅子



万燈かざり



八幡神社

7. 金谷の餅つき踊り

保存会会長の鈴木宅を訪問し、お話を伺いました。上野本金谷の氷川神社では、毎年11月23日に五穀豊穡を祈念して金谷の餅つき踊りが奉納されます。平安時代の武官・坂上田村麻呂が岩殿山に住む悪竜を退治した際、喜んだ村人が感謝して踊りながら餅をついてもてなしたものが始まりと言われています。音頭をとる人を先頭に2列になり、大木遣いを歌いながら杵をかつぎ神社に練り込みます。祝詞を上げ、最初の「練り込み」からせいろを持って登場する「せいろかぶ(む)り」、「大杵の両かぶ(む)り」、「小杵のまわしけこみ」、「小杵のよろけづき」など、つき方は全部で11通りが演じられます。最後に「十文字つき」で餅がつきあがります。つきあがった餅が奉納され、見物に訪れた皆さんにも配られます。また、始めに「練り歌」、終わりに「仕上げつきの唄」が歌われます。基本は「三本杵」といって、3人でつき練習を重ね、呼吸があわないとうまくつけません。昭和35年3月に、埼玉県無形民俗文化財に指定されています。令和4年11月6日、千年谷公園会場で3年ぶりにお披露目され、スリーデーマーチのウォーカーの皆様が楽しみました。



三本杵



大杵のまわしけこみ踊り

8. きらめき市民大学コーラスクラブ

「あ～ あ～ あ～ あ～ ああ～…」最初のラジオ体操に続いてコーラス練習前に生徒全員での発声。初めての生徒さんは、息が切れてしまって肺はからっぽ、最後まで声が出ないのは何故でしょう？ きらめき市民大学コーラスクラブ指導者の利根川佳子先生にコーラスの発声法（特に腹式呼吸）について講義いただきました。先生は、東京音楽大学、同大学院オペラ領域を修了され、現在はオペラ歌手としてご活躍されています。

コーラスの発声法

(1) 声の出るしくみ

肺から空気（息）を吐き、その息で声帯を振動させることにより音が鳴ります。声帯で発生した音が、喉、鼻、口、あるいは頭がい骨などを通して共鳴し響く。さらに、響かせた音が、口や鼻などの器官で、母音・子音を形成し、我々の声になります。

(2) 胸式呼吸（きょうしきこきゅう）

肋骨にある筋肉の動きを主体として、肋骨上の4本は前後に動いて下6本は横に動く、普段は意識せずに行なっている普通の呼吸法です。

(3) 腹式呼吸（ふくしきこきゅう）

横隔膜の動きを主体とする呼吸法。寝ている時などリラックスした状態の時にしている呼吸、背筋を伸ばして鼻からゆっくりと息を吸い込む。この時、丹田（おへその下）に空気を貯めていくイメージでお腹を膨らませる。次に口からゆっくりと息を吐きだします。そして吸うときの倍くらい（10数える位）の時間をかけるつもりで吐くことがコーラス発声のポイントです。

(4) 声帯の動き

声帯は、喉の中央にある器官。2つのヒダが合わさった形でここが振動して音がでます。声帯の動き振動が多いと高音、少ないと低音がでます。

(5) 共鳴腔

身体の中で音が反響する空間。声帯でつくられた音の波を響かせるには、鼻腔、咽頭腔、口腔を共鳴させることで伸びのある豊かな声を出す事ができます。頭のてっぺんから爪先まで身体全体を使い管楽器や弦楽器のように音を共鳴させて声を出すように意識することが大切です。



利根川佳子先生



コーラスクラブ



第18回学園祭

9. 松山女子高校音楽部

大正 15 年に埼玉県松山実科高等女学校として開校し、今年創立 97 年目を迎えました。各界で活躍する女性を輩出する伝統と歴史のある女子高校です。そんな中で、松山女子高校音楽部（松女音楽部）は、昭和 24 年からの活動記録があり、70 年を超える歴史のある音楽部です。松女音楽部の生徒達は、勉学に部活動にと全力で取り組んでおり、その成果は、各合唱コンクール大会への出場並びに受賞成績に表れています。

《松女音楽部令和 3 年度コンクール結果》

8 月 埼玉県合唱コンクール金賞および埼玉県知事賞

9 月 関東合唱コンクール金賞および支部長賞、全日本理事長賞受賞
(14 年間連続して関東大会に出場)

10 月 全日本合唱コンクール全国大会金賞受賞

現在、松女音楽部の演奏活動は定期演奏会とコンクールの他、地域の小中学校の校内合唱コンクールでの招待演奏や中学校 PTA 主催の音楽会での演奏、障害者団体の音楽祭参加や老人ホームでのボランティア演奏など、地域との交流活動も活発に行っています。

私達は、令和 4 年 6 月 5 日の第 45 回定期演奏会を鑑賞しました。わくわくした気持ちで迎えたオープニング、合唱コンクール全国大会受賞曲ステージ、OG 合同ステージ、懐かしの昭和ポップスのメドレーの数々、ユーモア溢れる寸劇、本格ミュージカルステージと息つく暇もなく楽しむことが出来ました。女子高校生の皆様のピュアな歌声と美しいハーモニー、輝きはじける若さに圧倒されました。顧問の吉田みどり先生の「今、コロナ禍と一部の世界の惨状をみると“歌を歌える”ということが普通なことではなく、どれほど幸せな日々かと改めて噛み締めずにはられません。世界中の人が音楽を楽しめるような日々が一日も早く訪れる事を願っています。」という言葉が深く心に残りました。松女音楽部の合唱コーラス DVD を提供いただきました。



第 45 回定期演奏会

【まとめ】

私達は、今まで取り上げた事のない東松山の「音の文化」をテーマに取り組みました。歴史ある伝統文化に触れたり、演奏会を聴いたり、コロナの影響で数年間休止しているお話もあり、困難な事もありましたが、全員一致団結して目標に向かって進むことが出来ました。終わりに今回私達の課題研究の取り組みに当たり、貴重な資料を提供していただき、ご指導ご協力を賜りました皆様方に、心から感謝申し上げます。

【活動記録】

NO	活動日	活 動 内 容	場 所
1	4月20日	課題研究の進め方	きらめき市民大学講堂
2	27日	音の文化について情報収集	東松山市商工観光課
3	5月11日	東松山サンバカーニバル	(有)インテリアチクマ
4	18日	よさこい陣屋まつり	いろは整体院
5	25日	箭弓稲荷神社雅楽について	箭弓稲荷神社
6	29日	よさこい踊るんや初夏祭り	ピオニーウォーク
7	6月1日	箭弓稲荷神社雅楽について	箭弓稲荷神社
8	5日	松山女子高校音楽部第45回定期演奏会	東松山市民文化センター
9	9日	松山女子高校音楽部顧問の話	松山女子高校
10	15日	獅子舞いについて	長谷部宅(神戸)
11	17日	餅つき踊りにについて	鈴木宅(金谷)
12	22日	利根川佳子先生の話	きらめき市民大学談話室
13	22日	獅子舞いについて	長谷部宅(野田)
14	7月6日	音の文化について(打合せ)	きらめき市民大学研修室3
15	8日	獅子舞いについて	岡村宅(上野本)
16	10月16日	上野本獅子舞奉納見学	八幡神社
17	11月5日	第25回よさこい陣屋まつり	丸広通り商店街
18	11月6日	金谷の餅つき踊り	千年谷公園
19	7/27、8/24、9/7、14、28、10/12、19、26、11/2、16、22、28(打合せ)		きらめき市民大学 研修室4・談話室

【ご指導ご協力いただいた方々】

東松山市商工観光課

〃 埋蔵文化センター

箭弓稲荷神社権禰宜

獅子舞保存会神戸地区代表

〃 野田地区代表

〃 上野本地区代表

餅つき踊り金谷地区代表

東松山サンバカーニバル代表

よさこい陣屋まつり代表

松山女子高校音楽部顧問

西洋音楽オペラ歌手

関 口 善 行

近 江 哲

松 岡 大 熙

長 谷 部 信 良

長 谷 部 哲 夫

岡 村 隆 喜

鈴 木 新 一

竹 間 利 勝

山 崎 太 加 幸

吉 田 み どり

利 根 川 佳 子